

たが ちが みと 互いの違いを認めあうこと

1960年3月21日、南アフリカのシャープビルで、人種隔離政策（アパルトヘイト）に反対するデモ行進に対して警官隊が発砲し、69人が死亡した（シャープビル虐殺事件）。この事件が、国連が人種差別に取り組む契機となったことから、人種差別撤廃のための記念日とされました。

この日は、世界中で人種差別の撤廃を求める運動が展開されています。

出典：Wikipedia

しかし、日本では、街頭において、ヘイトスピーチという名の外国人や被差別者に対する人権侵害が行われたり、インターネットを使って、弱者を徹底的に傷つける書き込みや同和地区の所在地情報など個人のプライバシーに関わる情報が公開され、部落地名総鑑として書籍を出版しようとする動きもあります。

人権の尊重は互いの違いを認め合うことから始まります。しかし、現実には性別・性の有り方・障害の有無・出身地・年齢・国籍など様々な「違い」を否定的にとらえ、それらの「違い」を理由とする理不尽な人権問題が発生しています。

同和問題をはじめ障がい者や外国人などさまざまな人権問題への理解を深め一人一人の人権が大切にされ差別のない明るく平和なまちづくりをめざしましょう。

宇陀市人権啓発活動推進本部